

家族の個性を“家”そのものに昇華した住まい
札幌 1邸

外観はモダンなコンクリート打放しの、威風堂々たる洋の佇まい。塀の一部に取り入れられた杉形桼が、全体の印象を和らげている。エントランスから始まるのは、静ひつな和の世界。本格的な茶事を催すことも可能な、茶庭を備えた茶室を最も手前に配し、醸し出す凜とした和の空気を奥へとつないでいく。ぐっと張り詰めたその空気が押し出される先にあるのは、思わず見上げる吹抜けの大空間。心と体を一瞬で開放する、プライベート空間だ。洋から和へ、趣の違いが対立することなく動線の中に取り込まれていくという配置の妙。大胆に大きくとられた窓は、庭と室内をひとつながりの空間に変えてくれる。2世代、3世代同居という将来も見据え、時代を超えて美しく、機能的な住まいを創り上げた。

主要な窓はすべて中庭に面するように
部屋を配置し、空間の流れと広さを作り出す。
撮影 木田 勝久

HOP
Housing Operation Project Group

森を建てる。
建築家が創るHOPデザイン。